

我等が外なる人は壞るれど
も内なる人は日々に新なり。
それ我等が受くる暫くの軽き
患難は極めて大なる永遠の重
き樂光を得しむるなり。

(コリント後書
4章 16-17節)

新任總長 佐々木順三氏に決定 就任禮拜式行はる

先月號既報の如く新總長は現都立高等學校々長佐々木順三氏と決定し、佐々木氏の現職免職辭令の發令と相俟つて去る6月28日(金)午前10時チャペルに於ける就任禮拜式に續き學校食堂前廣場で、前長ライフスナイダー氏、前教授ボーラッシュ氏、杉浦貞次郎氏等多數來賓出席の下に立教學院全學生……立教大學、立教理科工業専門學校、立教中學を……集めて就任挨拶が行はれた。

式は學院理事長松崎半三郎氏の新總長紹介、須藤總長事務取扱の退職挨拶に續き、佐々木順三郎氏は大要次の如き挨拶を述べ「立教大學に籍を置くものは眞理の源たる神に對して敬虔たれ」と重ねて強調した。

佐々木新總長挨拶

「私は舊屬立教大學の新總長たる可く交渉を受け一應御断りしたが諸般の事情は木靜からんと欲されと風止まず、遂に御引受けしました。私は御引受けした以上諸君の陣頭に立つて通ひ度い、思ふに大學と音ふものは頃の如き學生が深山そろつて居る計りでは良い大事とは音へのと思ふ、大學に眞理の源たる神に對する敬虔な心が動いて居らねならば本當の大學生では無い、立教の學生諸君が神を認めぬならば立教大學存在の意義が無い、聖書の言葉に「眞理は汝等に自由を與ふ」と言ふのがある、此の意味に於いて立教は自由の學府であつて欲しい、此の意味に於いて立教の抱負を高らかに歌つて欲しい、私は微力である、總長の大役は加重であるけれど總ての事は愛の精神もて解決出来ると思ふ、立教に籍を置く諸君心から立教を愛して下さい、諸君の御協力を望みます」

次いで根岸由太郎教授の教職員代表挨拶があり、續いて不自由な足を壇上に運ばれたライフスナイダー氏は、昔と變はらぬ流暢な日本語で學生生徒、學院關係者一同に挨拶を述べた。

ライフスナイダー氏挨拶

「私は日本を去つてから戰争中も、何時かは神様の御恵によつて此の立教に再び來て皆さんと必ず會へる日がくると考へ楽しんで居ました、今日その機會が與へられた事は眞にうれしく感謝に耐へません、タツカーブ博士からも皆様に宜しくと傳音がありました、タツカーブ博士も何時も戰争中の立教のありさまを御心配なさつて居ました」

戰争は終りました、今立教は今迄よりも大きな責任があると信じます、立教は米國クリスチヤンの精神を現す管轄學校です、キリスト教に基く教育を與へねばならぬ學校です、設立の精神に基いて立派な人情教育をする事は一番大切です、デモクラシイは立派な人格教

教職員組合

要求事項を理事長に提出

突破資金の捻出に成功

既報の如く組合の承認、理事會組合による協議會の設置、待遇改善、消費組合の設置を要求事項として、6月初旬立教に職員組合が結成されたが、7月11

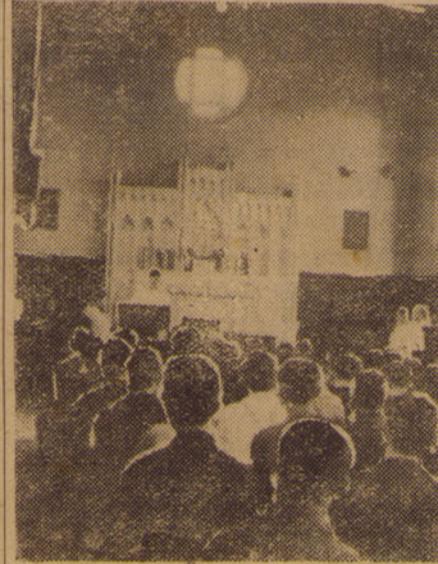
人が立教學院を經營する事はない、本學院は日本人の手によって自主的に經營されるものと御承知預かり度い。又立教學院が建學の精神に復歸する以上、キリスト教々育による人格教育を施す事はその根底である、私は學院を構成する重要ポストにある人は、信者であつて欲しいと思ふ。こゝに新總長を迎へ、諸君は力を合はせて建學の精神に副つて立教學院の發展に努力ちれる事を望みます」

學生會々報發行さる 學生の積極性を望む

6月15日學生會の機關紙『かいほう』第1號が發行された一般學生と學生會とが遊離してゐると云ふ聲の高い今日、會報が發行された事は、相互理解の爲に大いに益する處があらう。會報の内容は凡て一般學生に對して何を主張するかを尋ねてゐる。學生の代表が學生會を組織してゐる以上、學生全體の主張が即ち學生會の主張となるのだから一般學生諸君は學生會に不平不満があれば、それに對する改善策を學生大會に於て活潑に發言されよ、又どしどし本紙に投稿されよ、又學生會委員諸君、一般學生との遊離の原因が、學生會自身の内にある事を明記しその解決に努力されよ、そして皆で協力して美しい學園を築き上げやうではないか

豫科入學宣誓式舉行

學園生活即宗教生活



豫科新入生入學宣誓式は6月20日チャペルにて舉行された。聖歌、使徒信經、祈禱と嚴肅裡に式は進められ、チャブレン西村氏の説教があつた。チャブレンはキリスト教に對する諸君の認識を深め誠實なる信仰を持つことによつて本宣誓式を一層意義あらしめる爲にと題して學生の行ふべき三點を擧げ、之を強調した。

日午前11時から組合委員と松崎理事長、鈴木理事、佐々木總長と會談、先きの要求事項に就て次の如き解答を得た。

1. 理事會は教職組合を承認する
2. 定期的協議會の設置を否認し、その代り不定期の懇談會は承認する
3. 飢餓突破資金として織額13萬圓を組合に與へ、本人600圓、扶養家族1人50圓の給與をする事に決定した

But though our outward man perish, yet the inward man is renewed day by day, For our light affliction, which is but for a moment, worketh for us a far more exceeding and eternal weight of glory.

論說 學生に訴ふ

元來本學にはイズムがないと云はれ、牛面夫れを特色とするが、夫れは決して夫れ自體にて、立教存在の價値を高めるものではない。學と行の跛行性を調製し、亦本學獨自の明朗さの源泉たるスポーツもある程度の品の良い外型を整へるに力があつたが、之亦夫れだけでは決して充分とは云へないものである。

夫れは恰も定期的な流行の域を出ないで消滅する如きもので、今にして立教學園が眞に自主的な方向を確立し、過日ラツシユ前教授の撤にあつた、特色に基づく價値顯現への眞摯なる努力を傾けないなら再び時代と共に葬らるゝ危険なしとはせないのである。今や苛酷な敗戦の世相の中にも、總て外形上の復歸はなつたかの觀がある。然し問題は、此の再生に應ずる立教生の資格が厳密に、問はれなければならぬと云ふ事に對する關心と理解である。だが此處に當然夫れは、個々の問題であり、決して全體として強制さるべきものでないとの反対が出る事であらう。確にデモクラシイの叫ばるゝ今日、個々人の自由を制限し律する制度上の強制力は、反対されねばならぬ。だが自由を主張する者は、亦よき自由の理解者でなければならぬ。此の點に於て、本學は、其の傳統一團結の下、今こそ、「神と國のため」の眞の自由を開拓せねばならぬ重き使命を擔ふて居るのである。

斯如きが、我が立教生たる事の、誇りと自覺が生れて来る前提條件である。重ねて云ふが、夫れはあくまでも個々の問題である。然し、夫れなるが故に自由である事を忘れないで欲しいものである。

最後に、我々が、本學が、ミッションスクールである事を、如何なる面から把握し且、誇らんとするかと云ふ問題がある。

嘗て、米國より絶大なる援助を得た事に於てか、亦チャペルの在る事に於てか、亦はあの象徴的な十字架のマークを、胸に襟につける事に於てか、だが以上の何れかを以て本學を判し、亦誇るとすれば、亦右の事實以上に、出ない事を知らねばならぬ。

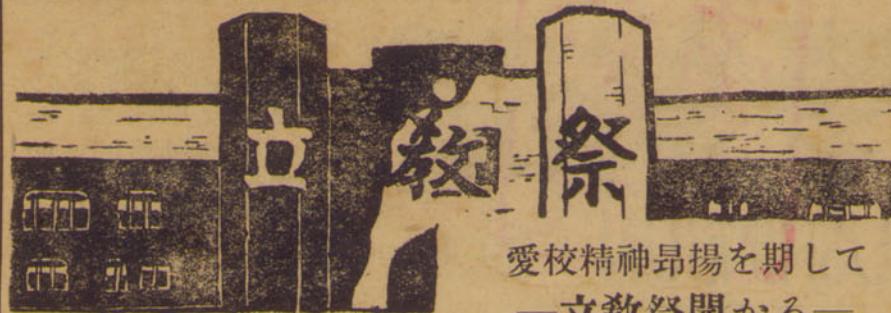
數言にして、願ふ。

高き品性を、陶冶すべくひたむきな、情熱を中に持ちつゝも、夫れが單に功利的なものでなく、外形容的なものでなく、最も眞實なる、中なるものであり度いと願ひ、此の一點に眞の學行の價値を高め行かんとする自己を持つ事、これが立教生をして、ミッションスクールとして誇らしめる最も一般的な立場である。

正に我々は、神の前にぬかづく敬虔さを以て、誇るべきものを誇らねばならぬ。

する者もあるが、多數決に依り編纂する事に決定された。内容には制限無く、原稿の締切りは、夏期休暇明けとなつてゐる。現在の所では百頁位の豫定で、一部拾回の見込みである。

「兎角此の様な事には、誰でも面倒がつて原稿の集まらないのが常であるが、自分達の會誌であるといふ事を考へて、全豫科生が奮つて投稿される事を望みます」と、學生會では要望してゐる。



6月15日より3日間、學生の啓蒙と新入生歡迎を兼ねて、學生會は7年振りに立教祭を復活させた。祝會・學生大會の後各文化團體主催の講演・劇・音樂會・映畫會・運動團體の各校内大會等が盛大に行はれた。尙15日にはラツシユ元教授が來校、學生大會の後に講演を行ひ、立教の進むべき道を明示した。

祝　　會

15日午前、西村チャップレン司會の聖餐式に續き、本學YMCAによる總會がチャペルに於て行はれた。即ち午前9時より新入生感謝禮拜が行はれチャップレン西村氏の説教があつた。次に松崎理事長の挨拶があり、氏は今後アメリカの教授を多數本學に招聘すると云ふ抱負を語り、又昭和15年頃、ライフスナイダー氏他本學諸教授の寫真を示して、當時ライフスナイダー氏との間に、今後も建學の精神を堅持して行く事を誓つた。

學　生　大　會

祝會に續いて學食前に於て學生大會が開かれた。議長、副議長の挨拶に引き續き神林氏議員、學3、湯氣君の發言あり結局立教祭を催した動機が沈滯してゐる立教の學生を啓蒙する點にある事を明かにし、當日の決議事項として、これを契機に愛校精神を昂揚する事を決定し互に誓ひ合つた。次いで文學部代表として英米文學科1年森崎君が壇上に立ち、立教

愛校精神昂揚を期して —立教祭開かる—

の學生はキリスト教精神にのつとつ進むべき事を述べた。

ポール・ラツシユ氏演説

折から來校されてゐた、元本學教授、現米國陸軍中佐ポール・ラツシユ氏は學食内に於て次の如き演説を行ひ、今後立教の進むべき道が、創立者ウキリアム博士の精神に立ち返る以外にない事を強調した。

本日立教に歸つて參りまして皆様の輝やかい、ほゝえみのある元気な顔を多數目のあたりに拜見することが出来て喜びに堪へません。私は今日の立教祭が立教の新しい將來への門出になるに違ひないことを確信し、且つその事を熱心に希望して止みません。立教には創立以來多くの人が力を注いで來たのであります。立教には諸君の御承知のやうに特別な歴史があります。今や立教はその創立者の精神に歸つて行かなければなりません。若しも立教にして創立者の精神に立ち返ることが出来ないとするならば、かゝる學校は原子爆弾を投げて潰してしまはなければならない。立教はその獨特なる創立の趣旨に鑑みてその創立の精神に復歸してゆかなければ決して偉大な學校になることは出来ません。そして立教の創立の精神とは眞に高尚な眞に基督教的な品性を養成することです。もしも立教の中にたゞ幹部にもせよ、教授にもせよその他誰にても創立の精神に反し、自己の勝手なる何等かの目的のために此の學校を利用してもが如き存在があるとすれば、かゝるものゝ存在はもはや許されません。私は終生立教のために力を注いでゆきたいと思ふ。そして立教精神の發揚に精根を傾けたいと決心して居ります。立教は前にも申した様に眞に高尚なる基督教的精神の持主を養成し、かかる若人を多數日本の社會に送り出して日本の建設ために全力を盡す義務があります。

學生會内部を肅正 來學期より新發足せん

去る2月、學生會發會當初からの代議員の間に意見の分裂が起り、その結果小笠原、富田、高坂學2の諸君が退陣をした。そして3月から學生會は學2岩見君を中心に再出發したのであつた。即ち顧問に神林、出村等の學3代議員諸君を据え、議長岩見君の下に副議長として學2小平、谷田の兩君を配した。かくて學生會は今日に到つたのであるが、現在迄果して一般學生と學生會代議員との意志疎通は充分に行はれて居たであらうか。我々は殘念ながらそれを肯定する事は出來ない。むしろ一般學生と代議員とは全然遊離してゐると云つた方が早いかも知れない。

この原因が代議員諸君がよく云ふ様に一般學生の無關心さによる事も勿論であるが、又學生會自身の内部に包藏する不調和が、重大な原因となつてゐる事を見逃してはならない。例へば定例代議員會は流會が常に續き、岩見、谷田の兩君だけが辛うじて豫科代議員に行事をさせて來た一事実のみを見ても、如何に代議員特に學部代議員がまとまりを失つてゐたかを知る事が出來やう。

これを要ひて學部3年代議員は、6月22日、全學部代議員を招集し、學部代議員の歩調不一致の理由、その打開策如何。學生會と一般學生との遊離する原因如何の2項目に就て、會議員に諮いた處、小

従つてこの趣旨に反する如何なる存在も如何なる團體も如何なる運動も存在の餘地はもはやありません。もし指導者の中に假にも間違つた考へをもつて指導するものが存在するすればかゝるもののは排除されねばならない。私は、そして私の國の人達は今や立教の動向に對して重大なる關心を拂つて居ります。そして新生日本の建設のためにこの學校が果すべき役割の大なることを信じ、且つ期待して居ります。少くとも立教の學生諸君は創立の傳統の上に立つて入人の世界の混亂に禍ひされることなく、高尚な基督教的な立派な人になるやうに努めていたいきたいと思ひます。そして諸君にしてその努力を致されるならばその結果は期して待つべきものがあると信じます。親愛なる立教の學生諸君！私はこの名譽ある傳統を有する學校に學ばれる若き諸君の魂に衷心より訴へるために本日話題に參りました。立教祭に際し私に話をする機會を與へられたことを衷心より喜び、且つ熱心に私の話をお聴き下さつたことを深謝する次第です。

演説の後氏は各部委員に對し、「今後立教大學がスキーの點でも、又學問の點でも何でも凡てナンバー・ワンとなる事を望みます」と激勵された。

ダンス・パーティ

立教祭第2日目午後4時から、學食にてR.D.A.主催によるダンスパーティが催された。ダンスに對する世人の認識が未だ充分でない今日、かゝるダンスパーティを開く事が、非常な冒險である事は主催者側も充分承知して居た處であらう。果してそれは社會的にも種々論議されるに至つた。併し我々が問題とするのは内容の點であり、又これが學生々活の凡てではない、と云ふ事であるR.D.A.の諸君、世人はこのダンスパーティに對して、誤解をしてゐる。これを解決する方法は諸君自身、前に云つた様に之が學生々活の凡てでない事を實踐を以て示すべし。又内容の點に就ても、未だ考慮する處が多い。過渡的な時機とて種々困難な事も多いであらうが、將來益々健全なものとされん事を望む。

大學・豫科夏季休暇決まる

現下の緊迫せる食糧事情の爲文部省より學校當局に通達があり例年より一ヶ月近く夏期休暇が繰り上げられ7月1日より休暇に入つた、尙9月11日始業の豫定であるが事情の如何によつて休暇の延長がある場合には九月初旬の朝日新聞に掲示する筈である。



S. M. 生

アーニイバイルを始めいろいろ劇場の立並ぶ都心の有樂街の中にC.I.E.圖書館のあるのを御存知であらう。そして中に入つて圖書を手にとつて眺めた兄等もあらう。無造作に並べられて自由に楽しめる明るい設備、「LIFE」をとり、他の美しい圖書を眺めてゐる人達の寛いだ氣持は、實に楽しい雰囲氣である。其處に集まる人達は唯美しい繪を、寫真を楽しんでゐるだけであるかもしれない。彼女等は米國の新しいスタイルに眼をひかれてゐるだけかも知れない。だがそこに、人間の知の追求といふ一番美しい、そして偉大な本能が表はれてゐるのではあるまい。

今立教の圖書館の中の學生の姿を思ふ

「戰後立教教育懇談會」開かる

6月17日立教祭の最後の催しとして、學生會・理專自治會主催による「戰後立教教育懇談會」が教授、先輩四氏を交へて行はれた。

戰後アメリカ聖公會本部と立教學院との關係、及びそれに對する學生、校友の覺悟が話題の中心となつた。即ちライフスナイダー氏の立教大學同窓會員との會合の席上の言葉を引いて、立教學院に對しては種々便宜をはかるが經濟的援助を與へることは出來ないとのアメリカ聖公會本部の意向が發表された。そして之が對策として從來の如き學校經營者の獨斷や無秩序を廢し、經營者、校友、學生が集つて立教の將來の發展のために話し合ふ民主的會合が必要であることに意見が一致した。之が實行上の具體的事項として1、戰後に於ける立教經營の自主性に對し立教學生校友は一心同體となつてその責務遂行の爲最善を盡すこと2、立教創立精神たるキリスト教主義徹底の爲學院再建の方途を講ずる3、日米學術文化の觸接をして立教の本質的重大使命顯現の爲、實行運動を起すこと、を決定した尙理專自治會小野君は、かゝる民主的會合の生まれた事を知られて、先輩、校友、學生諸君の參加・援助を切望する旨述べた。

理專讀書組合發足す

大學讀書組合が結成せられて、まもなく理專にもと、自治會副會長垣本正事君、同會計部長吉田敏夫君、等に依つて生れ組合員は100名ぐらいで、内容は、良書購入、並びに紹介等、學生の讀書熱をそゝる唯一の機關とならう。

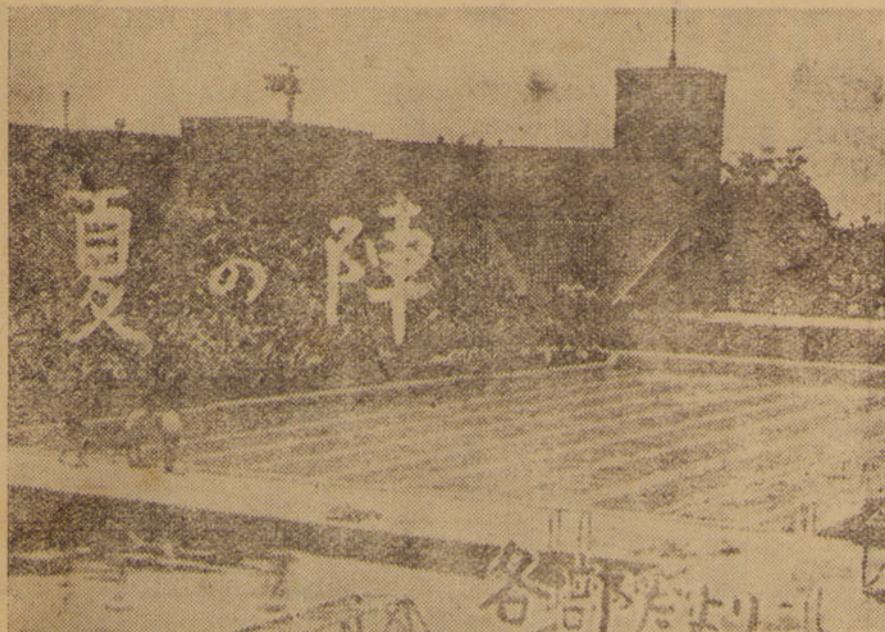
理專工學化學會 雜誌發行

工業化學會は今度雜誌を發行することになった。總務中田信秀君、文化部濱博世君等がこの編輯に當るものと見られる。締切は7月20日迄、内容に制限はないとのこと。

理專諸君は振つて本誌に應募されん事を望む。

時、又構内で會ふ學生達の姿を見る時何かしら淋しさを感じる。そして文化部の事を思ふ時、同胞であるが故に尙更に淋しみを感じる。街に聞く我が友等の噂、踊る大學生などといふ記事に接するに私は「それがすべてではない」と言つてやりたい。「構内へ行つて見てくれ」と言つてやりたい。而も現實を見る時大學の圖書館でありながらいちいち煩しい貸出方法、そして嘗ての陳列方式を止めねばならなかつた學生の教養の低さ。又各大學に於て殆ど持ちながらも立教には全然ない専屬の出版、印刷機構の事、更に不活潑な文化部のこと……

躊躇して言ひ得ぬ此の氣持。諸君。共々に何とかしようではないか。我々はもつと學を楽しむべきだ。平明な氣持で知を求める事を樂しまう。所謂學究的にならなくても演劇あれ、音楽、美術、文學と何でも皆んなで明るく、眞面目に樂しまうではないか。さながら我々がスポーツや、そしてダンスを愛し、たのむ如くに。



學園も六月一杯で授業を終り七月一日から夏休みに入つた。この長い夏休みをどう過すか、學生達の大きな頭痛の種であるらしいがその夏のプランを各部に聞いてみる——

レスリング部……今秋卒業の出村、京谷を始め以下全員舊柔道部の猛者連中がそつくり衣替へして頑張つてゐるのがレスリング部である。終戦後復員した彼等二人の運動部再建に果した役割は大きい。七月一日より十五日迄道場で村田、片岡以下連日猛練習に励んでゐる。さる日二千圓で仕入れたばかりのマットを盗まれて黒星をいたいたい部員達は練習の合間に板橋の某工場の重労働に從事して部費稼いでゐるといふ努力ぶりには頭が下る。よろしく各部や見習ふべし。

對早大戦の健闘といひ、秋の成果は大いに期待してよい。

野球部……秋季六大學リーグ戦も九月初旬より愈々懐しの神宮で二回戦制で行はれることになり、江田新主將以下七月末日より練習に入ると聞く、願くばチームワークを固くし、打力と外野の穴さへ埋めれば藤本投手の右腕は折紙つきであるから、神宮での活躍を期待して待たう。

帆走部……夏を迎へて海上スポーツの華ヨット部は七月六日より琵琶湖に於ける大學高専東西対抗競技に参加、目下西軍有利なる模様七月十四日月島出港、江ノ島に向ひ逗子、葉山、片瀬のコースで七、八の兩月に亘り合宿練習に入るわけだが、八月末迄江ノ島にキャムプストンを開いて一般に開放しヨットとお茶もサービスして部費も作らうといふわけ。さぞかし若い娘で賑ふことであらう。ウンと稼いでくれ……。

スキー部……各個練習で練習を重ねて來たが、新學期と共に冬のシーズンに備ふべく夏もトレーニングに暇がない。優秀メンバーを豫科に迎へ、一日も早くあの「ハチマキ」姿の英姿に接したい。

籠球部……八月一日より十日間、數名の先輩を招して體育館に於て夏期特別練習を行ふ。

軟式庭球部……七月一日より連日立教コートで林主將以下全員元気な姿を見受ける。

播籠期にある軟庭の今後の活躍を期待すると共に奮闘を祈る。

R.S.C.……序で新しく出來た立教ソシアルサークルを紹介しよう。之は各運動部の主將を以て構成する會で、稱してR.S.C.。會長格發起人であるスキー部の山本君にその趣旨をきくと——曰く“終戦と共に我等に與へられた自由”、此の自由を我等の生の良さと情熱とを以て謳歌せよ、R.S.C.の主旨は學園の名譽のために健闘する各運動部再發足に要する資金援助のためと併せて我等立教生が學園を廃立つまで、その社會人紳士としての社交的素養を涵養せんとするにある。

君等は此處に於て眞の意味での正しき自由の意義をしり、男女交際の範を發見するであります。新學期より部員を募る。毎月一回映畫會、音樂會、バー等を催す豫定。

馬術部……六月十二日立、法、明の東軍と同志社、京大、立命の西軍との對抗試合が京都にて開催され、十九點の差を以て東軍の勝利に歸した。

夏の合宿も計畫してゐると聞くが馬がなくて困つてゐるらしい。誰か寄附する有志はゐないか……。

戰時中、極端にまで壓迫され、歪曲されて來た學生スポーツも各運動部の學生達の努力の結晶により漸時再建されつゝあり、秋のシーズンを迎へるに當つて活潑な活動を開始しつゝある。各部共凡ゆる障礙を乘越えて一日も早く往年の實力を取り戻してもらひたい。武裝を解き新日本文化國家を建設せんとする現在の日本にあつてはその文化活動と相俟つてスポーツの占める役割

は將に大きいと思ふ。ともすれば怠惰に流れ易い昨今、我々學生はスポーツによつて、その心身を鍛錬することを一日も忘れてはならない。此の意味に於て、今後全ての學生にスポーツを行ふことを奨めたいと思ふ。それは食糧並に資材等の技術面に於て、多くの困難を伴ふであら

立、日、明三大學對抗水上大會は、早慶水上戦に引續き、十六日午後一時より碑文谷の日大プールに於て舉行、本學は其の傳統的實力を各種目にわたつて爆發させ、遂に明、日をセント・ポールの旗の下に屈伏させた。當日は折からの快晴に恵まれ氣温34度、水温28度のコンディションで試合は開始された。本學は先づ短距離に24點の大量得點をすれば明大は、長距離に8點を獲得し、各種目にせり合つて800メートル前に本學53點、明大51點となり、結局最後の繩泳に本學は400メートルリードを日大より奪ひ明大を大きく引離して優勝した。

◆300メートルリレー

①立大(江川、杉山、白山)3分47秒
②明大 ③日大

◆800メートル自由型

①古橋(日大)10分28秒 ②岩倉(立大)
③川口(明)

◆200メートル自由型

①太田(立大)1分24秒4 ②白山(立大)
③古橋(日大)

◆100メートル背泳

①川口(明大)1分17秒4 ②長澤(明大)

戦時中、極端にまで壓迫され、歪曲されて來た學生スポーツも各運動部の學生達の努力の結晶により漸時再建されつゝあり、秋のシーズンを迎へるに當つて活潑な活動を開始しつゝある。各部共凡ゆる障碍を乘越えて一日も早く往年の實力を取り戻してもらひたい。武裝を解き新日本文化國家を建設せんとする現在の日本にあつてはその文化活動と相俟つてスポーツの占める役割

は將に大きいと思ふ。ともすれば怠惰に流れ易い昨今、我々學生はスポーツによつて、その心身を鍛錬することを一日も忘れてはならない。此の意味に於て、今後全ての學生にスポーツを行ふことを奨めたいと思ふ。それは食糧並に資材等の技術面に於て、多くの困難を伴ふであら

う。しかし情熱と鞏固なる意志を以てすれば、最初は遙かに現實に遠いものであつても、各自の體力に應じて必ず實行出来るものである。學校當局及び學生は速かに真剣に此の問題をとり上げ、其の實現を期せねばならぬ。スポーツは決して少類敷學生のものであつてはならぬ。學校を代表する選手と云ふものはスポーツにいそしむ全學生の上に立つ正三角形の頂點であつて、決して不安定な二等邊三角形の頂點であつてはならぬ。

「文武兩道」と言ふ言葉があるが、我々はあく迄スポーツと勉學の何れにも偏することなく、あくまでアカデミックな學生スポーツに終始し、其の發展を心から希ふものである。

スポーツ談議

自動車部……昨年十月以來約半歳、故障車の修理に務めると共に部費の捻出に努め、此程トラック乗用車共に完成、運轉技術を通じ國民文化の向上に資すると共に學内諸般の運輸に貢献來つた。現在豫科部員の練習を西大久保モーター普及會に於て行ひ、技術向上に著しいものがある。更に各大學自動車部に魁、往年の自動車學生聯盟の發足に乘出し、自動車によるフィギュア、オートバイによるスピードの各レースの復活を近き日に期待出来よう。

卓球部……傳統を誇る卓球部も既に

猛練習の結果として農大、東京齒科を破り意氣軒昂たるものがある、依然として傳統は維持されてゐる事を喜ぶ。猶夏期合宿は東金女學校にて二十日より五日間行ふ。

誰でも使へる運動場

豫科校庭に實現か

良き學生は良きスポーツマンであらねばならぬ。スポーツマン、シソを通じて體育、人格、教養の向上へと、渡邊體育主任の肝煎りで今度新しく豫科に誰でも使へる運動場が建設されることになつた。籠球、庭球、バレー、ブルー等々廣範にわたるもので、其の計畫案は當局に提出中のことである。

各部豫算と

新主將の顔ぶれ決定

スキー部	山本 洋	2,400
籠球部	今井 洋	1,600 (60)
ホッケー	伊東 章一	3,200 (12)
陸上競技	大野 信男	3,200
體操部	牛島 勝巳	100
馬術部	城 昇	1,600
排球部	原 菊男	3,200 (60)

傳統の強味を發揮 本學優勝す 立・明・日三大學對抗水上

(3) 江川(立大)

◆200メートル

①杉山(立大)2分50秒4 ②齋藤(日大)

③鈴木(明大)

◆100メートル自由型

①大谷(立大)1分3秒2 ②廣山(立大)

③古橋(日大)

◆400メートル自由型

①古橋(日大)4分57秒8 ②岩倉(立大)

③川口(明大)

◆100メートルリレー

①立教(平山、大田、望月、岩倉)9分59秒2 ②明大 ③日大

◆総得點 ①立大58 ②明大54 ③日大38

自転車 渡邊 正男

スケート 村田 豊 1,380 (300)

卓球 堀 正人

ラグビー 田中 和政 5,240

庭球 櫻井 弘 2,880

レスリング 村田 春雄 2,400 (60)

山獄部 柴 田 1,600

水泳 太田 光雄 3,060 (30)

野球 江田 清 1,600

サッカー 小野 虎夫 4,000 (60)

軟庭 林 寶郎 500

アメラグ フジ 桂一

帆走 鳥越 稔 1,600 (480)

自動車 豊田 浩 400

拳闘 小堀 潔 4,900 (180)

應援團 小藤 武門 (各部ヨリ25回)

他に相撲、空手は同好班として認められることになり各100回

新庭球コート 新設さる

コート開き盛大に舉行

去る五月より工事にとりかかつてゐた新設テニス、コートは漸く完成六月廿日には部長河西太一郎教授、理事佐伯先輩日本庭球協會小宮山先輩以下多數の來賓を迎へ盛大にコート開きが舉行された。

新設コートは舊教練場でコート四面の優秀さを誇るものである。工事は更に續行され此の優秀なコートを有する今後の庭球、活躍が期待される。

立教祭點描

好評だつた各部模範試合

六月十五、十六、十七、の三日間にわたり行はれた立教祭は終戦後漸く再建成了母校に若き情熱を爆發させて、多彩な餘興と共に盛大に其の幕を閉じた。

問題のダンスパーティを始め英米文學會の劇、オニール作「鯨」、E.S.S.の「シソト」演劇研究會の「署長さんは御入好し」は仲々の好評であつた。一方校内各處で各運動部の野球、庭球、レスリング等の對抗試合が行はれ、素人チームだけに幾多の迷プレーが續出して觀客を喜ばした。一方當新聞部では十六日、學内ノF自慢素人音樂會を開催、多數の參加者は賞品のピース目當てか、續々押しよせ理專の假裝行列からの飛入りもあつて、當日の壓巻であつた。十七日には再び當部の主催で映畫會を開催、往年の小型映畫研究會の作になる劇映畫、「樂園に墮ち行くもの」「過ぎし日の想ひで」及び「學園ニース」を上映、上原謙、佐野周二等の學生時代の面影と共に、活潑平井君の名調子に仲々の好評であつた。又當部では號外を發行した。

RIKKYO-SAIPEO NEWS

花束で飾られた校門

立教祭の第一日が静かにあけて行つた。すつきり晴れ上つた六月の青空をバックに花で埋められた十字架が青嵐に、乙女の微笑にセントポールを象徴して美しく、白、赤、青、緑に光つてゐる。



{學生大會開かる}

(第1日)

學食前に於ける學生大會は學生の意氣あふるゝ内に盛大に開かれた、この日の學生大會では、とかく一般の學生と遊離し勝ちだと云はれてゐる學生會の意向が明かにされ全學生は打ちとけた氣持で、將來を語り合つた。



立教高女聖歌隊による音樂禮拜(第1日)

ラツシユ氏來 校さる(第1日)

ジープを馳つて軽装の前教授ボール・ラツシユ氏は15日午前、本學を始めて正式に訪問された、祝會に参列された後、學生大會に先だつて、學食内に於て演説を行ひ、學生を激励された、氏が外に出られると待つてましたとカメラ班に取囲まれて、バチリ。



—レスリング校内大會—

石濱知行 責任編輯 民主主義講座

全12巻 月報添付 各巻 ￥10程度

1. 民主主義概説 清水謙太郎
 2. 民主主義の世界的動向 東大教授 横田喜三郎
 3. 米英の民主主義 松本重治 市村今朝藏
 4. ソ聯の民主主義 山之内一郎
 5. 中国の民主主義 九大教授 石濱知行
 6. 日本の民主主義 鈴木安蔵
- 詳細案内書御入用の方は
革新社「民主主義講座」係宛へがきにて申込まれたし
東京都神田区駿河台3-5 革新社

株式会社 大興社
文部省立教書部教授 杉木喬著
定価版 B6九月上旬刊行 約約二〇〇頁
今日のアメリカ文學

★アメリカ文學試論

新府書房
東京麹町区飯田町一の十六

雑誌月刊 探書マンスリー
遂に日本のリーダース・ダイジェスト生る
讀書界に投する一石縮刷圖書館
誌代一部五圓半二〇錢 半年送共三十二回
近刊 初版

東寶巨篇 大藤原田節進子
傳河内進子
脚本久保繁郎
春吉がわ
梅に在る
演出・黒澤明
日本映畫の贈る新鋭黒澤明
「學生生活」眞實を遂に描く

各部催し物行はる

立教祭を通じての3日間、各文化團體に講演、劇、映畫、音樂會を、運動團體は夫々校内大會を盛大に催した。

即ちレスリング・ボクシング・野球・庭球・排球・卓球各部は校内大會を開き、優勝者には夫々賞品を授與した。YMCAは祝會、音樂禮拜、及び聖日感謝の集ひを併し、劇研は劇「署長さんはお人好し」を、文學部は劇「鯨」を、英語會は英語劇「シット」を、新聞部は素人音樂コンクールと、昔の立教を偲ぶ小型映畫研究會作品集の上映を、映研は映畫「煉瓦女工」を上映、夫々興味ある催しを行つた。又河西、宮川、杉木、須貝各教授は夫々講演を行つた。

理專に於ても各種催し物があつたが、中でも假裝行列は人氣を呼んだ。

ダンスパーティ

「この不安な社會の中で、何がダンスパーティだ。時機が未だそこ迄行つてゐない」「何、時代の先鞭をつけるんだ、内容さへ健全なら問題ないぢやないか」と學生の間でも替否交々の中に、立教祭第2日目午後4時から、學食でダンスパーティが開かれる事になつた。

折から降り出した雨の中を集つて來た學生達、先輩達、そして美しく着飾つたお嬢さん達、一同始めての試みなので、何か勝手の違つた思持ちである。バンドは立教ココナツグローハワイアンバンド、やがて演奏が始まる。人々はオフスクス、トロツトに酔ひ、ワルツにさそはれて躍り出す。ターンしてボインとぶつかり、「あツ失禮」「あツ、又失禮」東寶女優濱田百合子さんの姿がチラツと見える。かくて午後8時、ダンスパーティは盛会裡に終つた。

このダンスパーティが讀賣紙上に「背廣姿で躍る大學生」として掲載されるや、社會的にも反響を起し、非難の聲や、賛意の聲が上った。しかし我々は又他に於て、學問に對する情熱を堅持するならば、如何なる非難も恐るゝに足りないであらう。



「署長さんはお人好し」

(第3日)

假裝行列

さて、この黒山は？
流行のデモならぬ假裝行列、來訪者の人氣を集めめた。理專2日目の催しグロテスクな黒人あり、妙齡の御婦人あり、紳士あり……と多彩を極めた豪華版であつた。



立教藝能祭

涼風と共に流れ出づる
青春の若人の夢の世界

1. 立大藝能オールメムバー
灰田勝彦・三根耕一
佐野周二・三井秀男
岸井明・AK田邊アナウンサー
1. ココナツアイランダース樂團
1. 立教ココナツグローハワイアンバンド
立教ヤングスター・アンサンブル
唄 奈良光枝・伊山澄子
長内端とその樂團

於・神田共立講堂
7月26日・0時半、4時

立教大學新聞部主催

WELCOME

立大キャンプストア

濱の憩ひ 涼風の家

喫茶葉子	片瀬東海岸
軽い御食事	小動亭

ヨツトサービス

片瀬 立大ヨツト部主催

立教大學

同窓會員に告ぐ

新名簿作成の爲同窓會員は住所異動なくとも氏名住所職業卒業年度學科等を下記に是非御連絡下さい。

東京豊島池袋三丁目
立教大學内同窓會
尙母校は戰災を免れました。



二世 G.I. を囲んで アメリカ學生々活を語る

出席者

リチャード・サカモト 加州大學卒
サブロー・イケダ 同
グローブー・ヨシハラ 加州大學卒
小藤 武門 本學部二年
坂本 義行 同
土田 美代子 同一年
記者 箭野 英雄(當部員)

スポート・音楽

記者 アメリカの學生々活に就て、色々お話を承りたいと本日皆様にお集りを願つたわけです。アメリカの學生々活を象徴するものはスポーツであると、一般に云はれて居ますが、現在學生の間で一番はやつてゐるスポーツは何でせうか

サカモト フットボールがはやつてゐますね。

ヨシハラ スポーツにもシーズンがあつて一概には云へませんが大體、季節によつて春から夏はベースボール、秋はフットボール十一月から三月頃迄はバスケットボールが盛に行はれます。以上の運動の外にトラック(陸上競技)を加へて四つを Major Sports とひ、その他のラグビー、水泳、レスリング、ボクシング、テニス、ホッケー、サッカー等を Minor Sports と云つてゐます。つまりスポーツの中でも上の Major Sports を特に重要視してゐるわけですね。

土田 女子の學生はどんな運動をするのでせうか?

サカモト 主にテニス、バスケットをやつてゐます。

小藤 選手がレッスンを休んで練習をすることはありませんか?

イケダ カレッジではそんな事もあるやうですが、我々の大學生では特別の場合以外は休みません。

記者 アメリカの音楽と云ふとすぐジャズを思ひ出すのですが……

サカモト クラシックは一般に餘り好まれません。ジャズも最近大分變つてきました。

イケダ Sweet Music がジャズより好まれてゐるやうだ。それはクラシックとジャズの中間を行くものです。

ダンス・パーティ

記者 アメリカの學生はよくダンスパーティーを開くさうですが……

サカモト さう、二週間に一度位づります。

土田 学校ですか?

サカモト 主に寄宿舎であります。

ヨシハラ ダンスをする事は學生時代ばかりでなく社會に出て、社會生活をするやうになつてから、男女間の交際をす

る爲に好い機會を與へる點からもよい事だと思ひます。

土田 Common Sense を養ふ爲ですね

ヨシハラ えゝ、さうです。

小藤 先日、日本で始めて立教がダンスパーティを催したのですが、社會情勢もアメリカとは違ふし、色々非難の聲を聞きますが……

イケダ それならダンスの稽古だけをしてたらいいぢやありませんか…笑聲…

ヨシハラ 時代の先鞭をつける意味からも好い事だと思ひます。

ヨシハラ ダンスパーティの目的は人に會ひ、人を知る機會を得る事にあると思ひます。

男 女 共 學 制

記者 今のお話に關聯して、日本の大學でも今年から男女共學制が施かれましたが、立教では女子學生一人といふ極く少人數です。今後は追々完全なものになつてゆくと思ひますが、この共學制に就てサカモトさん何か……

サカモト 社會生活は男子と女子と兩方でやつて行くものですから、學生々活も男女でやつて行くべきものだと思ひます。Social Training の爲には男女共學制が一番好いと思ひます。

坂本 男子生と女子生の成績はアメリカでは如何ですか?

イケダ ハイスクールでは女子の方が程度が低いが、大學に入つてからは餘り變りません。

記者 土田さん何か……

土田 経済學部では私一人なので困ることがあります。アメリカでは男子生と女子生がどんな態度で交際してゐますか?

サカモト 別に變りありません。男同士と同じです。

ヨシハラ 日本の女性は Education が足らないのではなく、Education の仕方が間違つてゐます。

就 職 寄 宿 舎

記者 アメリカの大學生には就職しながら勉強してゐる人が多いと聞いてゐますが……

イケダ 相當居ります。戦時中は七十位働いてゐました。

坂本 授業はどうしてゐますか?

サカモト 每日授業が終つてからとか毎週土曜だけ働くといふ人が殆どです。だから授業にはさしつかへありません。又、學校で就職斡旋をしてゐます。

記者 寄宿舎生活の様子をヨシハラさん何か……

ヨシハラ 寄宿舎生活は Private School に多い。日本の寄宿舎生活の様に Beer Bust といつてビールを飲んで大騒ぎをすることがあります。

試 験

記者 試験はどんな具合ですか?

イケダ 學期の終りにあります、課目によつては毎日あることもあります。

坂本 入學試験はどうですか?

サカモト 私の出た加州大學では英語の試験だけで特別の入試はありません。ハイスクールの成績によります。

小藤 英語の試験と云ふと?

サカモト 正しい英語を知つてゐるか否かを調べるので、四割位落ちます。

思 想 傾 向

記者 アメリカでは共產黨の評判はどうですか?

イケダ 餘りよくありませんね。それは東部方面の産業都市で若干の黨員を持つてゐますが、アメリカ全體としては非常に勢力が乏しい。その最大の理由は共產黨の理念といふものがアメリカ人の思想にそぐはないからです。

記者 しかし、最近ではアメリカでも共產黨が相當勢力を得てゐるさうですが

イケダ 私は決してさう思ひませんね。共產黨といふものは議會勢力が殆ど悪いし一般の大衆にも影響を與へてゐません。それは共產黨といふものが永年アメリカに於て常に trouble ばかり起してゐるからです。

記者 アメリカには Communist Student がどの位ゐますか?

サカモト 非常に少い。一%位でせう。

坂本 どういふ人が多いですか?

ヨシハラ どういふわけかジューに多

い。學生の思想は一般に中庸です。

小藤 一般の大學生ではキリスト教が行はれてゐますか?

イケダ 官立では特別な課自として牧師がキリスト教の授業をする。チャペルへ行く事は各自の自由です。

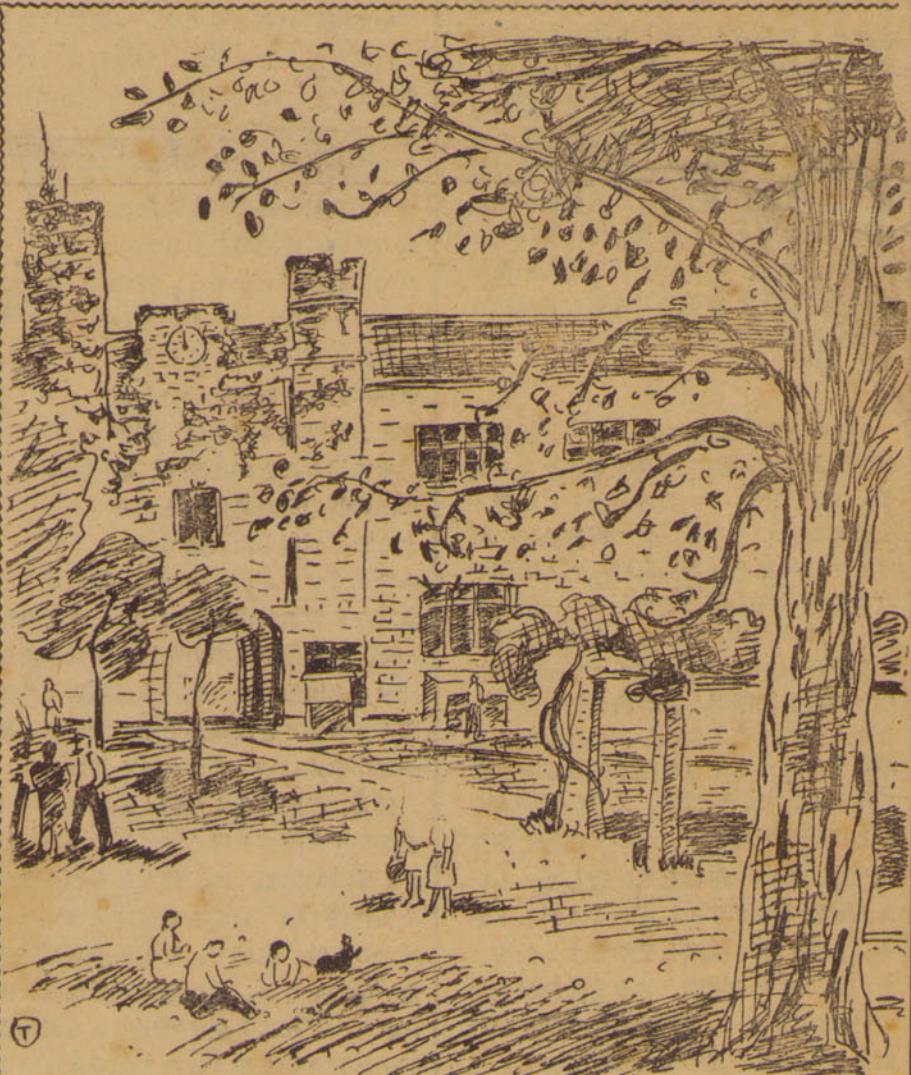
新 日 本 建 設 の た め に

記者 今、日本で一番重大なことは新日本建設といふことです。新らしい日本は如何に舊い日本と異なるか、すなはち新日本は如何なるものであるか、といふことが日本の一般の識者にも學生にも徹底してゐないやうですが、この點をどうぞ……

ヨシハラ 新らしい日本を建設するためには、いはゆる四つの自由が確立されねばなりません。その四つの自由はマックアーサー司令官から日本人に對して與へられました。第一が言論の自由、第二が信仰の自由、第三が恐怖からの自由、第四が缺乏からの自由、此の四つが新日本の理想です。これらの自由に基いて新日本は建設されねばなりません。

サカモト 日本の自由主義の花を立派に咲かせるためには、日本人の人々々が新日本建設の義務と權利を充分に理解して努力することです。もし日本人の老若男女がこの新しい義務と權利を理解しないで無關心であるならば、折角日本は新らしいチヤンスを與へられたながら、これを失つて再び舊い日本の状態に戻る惧れがあります。

記者 では時間も大分おそくなりましたのでこの邊で……有益なお話を色々と有難う御座いました。



繪 と 文 大 學 の 庭

神 保 俊 子

長い戦争の間、私も度々應召の若人を送つた。數々の悲愴なその送行の情景の中に、想ひだされる別な一つの場面がある。それは私の親しい立教大學生の一人が病床から痛々しく立つ時だつた、丁度遠方の旅に在る父親の代りに、彼のやさしい母親と共に附き添つて來ら たのは温額の牧師さんだつた。出征兵士のお母さんと牧師さんは一寸變つてゐる。けれど私は、本當の温い人間の姿と、人の子の慈愛とあはれをしみじみと感じ打たれた。そして彼を送る友人達の歌は、憂いの軍歌の怒濤の中に交つて、何と明るく若く美しく、しかも音樂であつたことか。

大學の庭には、今年は女子の學生も入つた。上級學生は殆ど復員の人々であるといふ。

學園の眞實な自由が展けてゆく。つたの葉の色深い時計塔。

あのなつかしいチャペルの鐘も清々しい。

(筆者は二科會員)

一經濟生活の史的社會的究明一

…經濟史によつて何を學ばんとするか…

大塚久雄

[1]

經濟史とはどんな事をやるのか、そんなことは始めは考へない方がよいと私は考へるが、諸君の中の或る人々は或ひはそんなことを云つても何をやるのか見當さへつかないと云ふかも知れない。そしてそれは或意味で最もなことなのである。實際我國在來の歴史教育では經濟史と呼ばれる部面は比格的看却されてゐるのは事實だからである。しかし諸君が今迄習つてきた歴史の中で經濟史と名附けられる部分も看却されてきたといつて、經濟史は諸君が今迄習つた歴史的事実に位へて遂に諸君の日常生活に縁遠いもの、特別なものを研究するものだ等と考へてはならない。それ處ではなく、正に逆なのである。經濟史は我々の、即ち民衆の全くの日常生活、しかもその中で最も卑近な經濟生活、その歴史的な姿を有體に正確に描もうと云ふのである。民衆は日々飲み、食ひ、住み又着なければならぬ。その爲には、さうした消費物資は何時の世でも天から降つたり土から湧いたりするものではないから、絶えず生産されなければならない。民衆は絶えず色々な物資を生産し、それを消費しつつ自らの精神と肉體とを維持し又向上せしめ、更に又新たな生産に營む、かうした過程を歴史の曙から現在に至るまで瞬々と、ども絶えることなく、續けられてゐる。經濟史はかういふ民衆の經濟生活が古くからどんな具合に行はれてきたかを研究し、それによつて現在の經濟事情と問題とを理解すべき礎石を見出さうといふのである。

[2]

かういふ風に經濟史は人類の、民衆の營みきたつた經濟生活の歴史的な姿を究明しようとするのであるが、そこに種々な問題が起つてくる。先づ經濟生活の社會的構造或はその發展段階といふ問題である。と云ふと夥々難かしさうに聞えるが、かういふことである。人類は、民衆は歴史の曙から現在に至るまで絶えず生産と消費とを繰返し、經濟生活を續けてきた。消費物資を生産し、これを絶えず消費するといふやうな抽象的な點を取つてみると、どの時代の、又どの國の人間でも何の變りはない、かつて何物をも生産せず、從つて何物をも消費しないといふ人間は明かに存在しなかつたからである。しかし乍ら生産し又消費する仕方、その爲の社會的組織、さうした經濟生活の社會的構造、かうしたものは歴史時代によつて恐しく異つてゐるのである。と云へば諸君は既に想像がつくであらう。例へば資本主義と呼ばれる現代の經濟組織を見てみると、企業家たる資本家は貯銀労働者と傭ひ手等を一定の經營體に組織して、種々な物資を生産して此れを賣る。基本的にはかうした仕方で有らゆる物資が生産されて行く。民衆は自らの得た所得でもつてこの諸物資を買ひ取り、これを消費するのであるが、一體この所得は何處からきてゐるかといふに、つまり企業家の得た利潤であるか、労働者の得た貯銀であるか、或はこの二つ

も、かういふふうに極めて重要な變遷と進化とを遂げてゐるのであり、これを充分に知るのでなければ現代の經濟組織も、その問題も理解され得ないことであらう。經濟史はかうした點を先づ明かにしてゆくことを目的としてゐる。

[3]

經濟史は人類の、民衆の經濟生活の歴史的な構造をば明らかにすることを先づ問題とすると云つた。しかし人間はパンのみで生きてゐるものではない。具體的な人類の生活は經濟生活につきるものではなく、有らゆる文化諸領域に跨がつてゐる。從つて經濟はあらゆる他の文化諸現象と切離し得ない關係をもつてゐる。人類の生活現象の内で經濟にどの程度の重要性を與へるかは意見の異なるところがあらうが、此點は過りのないところであり、經濟史研究に際して充分に留意されねばならない。つまり他の文化諸領域の歴史から完全に切離され、孤立

した經濟史の如きものはないのであつて正しい經濟史は具體的な人類の生活の歴史の内に含まれてゐる經濟の側面を見極め、その占める地位と意味とを究明しやうとするのみなのである。つまり經濟史は「パンのみに生きてゐるものではない」人類の、しかし絶えずパンを食ふことによつて、生きることをせまられてきた人類の經濟生活が、どんな社會的構造をとつて來たか、又その變遷はどうした事情からもたらされてきたかを史實によつて究明するものに他ならない。尙若し經濟史と他の文化史諸領域との關係、特に精神史とのそれに興味をもつ方には次の二三のものを上げて置く。マックス・ウェーバー、梶山譯「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」、ルヨ・ブレンタノ、田中譯「近世資本主義の起源」、それから經濟學論集に連載中の拙稿「マックス・ウェーバーに於ける資本主義の精神」等。

—1946.7.12—

敗戦から既に一年に亘りしてゐます。そして次々に出される司令部からの司令で日本の社會的變革は強行されて來ました。思想の自由が認められ、國家主義、過激國家主義の思想家に代つて教壇、演壇、ジャーナリズムは曾ての自由思想家や左翼陣営の人々によつて占められるようになりました。殊に教壇には所謂追放教授達が無條件に返り咲き、學生達の希望の大部分はこれら復歸教授にかけられてゐるのです。それだけに私は、この復歸の原因である「追放」と言ふ事實について疑問があるのです。一體追放などと言ふことが戰時中にに行はれたのでせうか。勿論私もその事實が皆無だなどとは申しません。私の尊敬する先生達の中にも確かにこの事實は認めなければなりませんが、多くの場合、追放も公の問題として立場を争つたことだつたでせうか。多くは學園といふ小政治舞臺で私闘に破れた人達の、敗北でしかなかつたのではないでせうか。眞理を堂々と表明して、そのためには追はれたのではなくして、眞理に対する確信を缺いたが故に、當然取るべき公の鬭争の場に出来ず、終にかの暴力のためにひとたまりもなく屈服した人達ではなかつたでせうか。とすれば、追放は名譽ではなくして眞理に忠實ならざる故の恥辱ではないでせうか。戰時中に教鞭を取つた人達は確かに學力の低い人達が多かつたでせう。それに比べると追放された教授達は確かに外國語などよく讀める教養人が多いことは確かです。ですから學生達の認識に對する一部の欲求は或は満されると思ひます。

併し、學問はそんな個人的な事柄でせうか、自分だけ眞理を認識する喜びを得て悦に入つておれば事足りるのでせうか。學問的認識には、個人をもつと社會的責任に呼び出し、その實踐に驅り立てる客觀的な力はないでせうか。認識は單なる趣味の事柄で、その認識者を義務に驅り立てることはないのでせうか。學生達の求めは確かに知識的なものです。けれど、それは人生の門出にある者の常として、決して、人間の眞實と切り離されたものではないのです。そして、私達は學生達のこの要求を拒むる權利を持てゐるでせうか。何程、學問的な認識は一應、その認識主體の持つ生活からは區別されなければなりませんが、又同時に學問的認識と雖も決して單なる趣味や遊びごとではなく、人生の眞實の一面でなければならぬと思ひます。科學的眞理は、方法的に獲得された客觀的な事態の把握で、それ自體は何等命令を持つては居ません。唯眞實と論理を表明するだけです。併し、それを把握する人間は一定の現實的局面に實存する人間です。從つてその實存者に對しては、眞理は歴史的な意味として受けとられる、或は呼びかけを持つのです。ですから、その認識はその認識者を傍観者では置かない筈です。

又一方、學問的認識は自由なる思惟によるもので、他から

思想と責任

～一つの手紙～

大須賀潔

ことがあるかも知れません。併しその場合にも、眞實によつて媒介された移行ならば、必ず何等かの形でそこには前の立場が高次な立場の中に生かされてゐる筈です。ふらふらと新奇と追ふことが現實に忠実の所以では絶対にないと思ひます。斯うした主體の眞實の裏付けがあつてはじめて眞理は眞理としての客觀性を得るのだと思ひます。そして、この主體性は、歴史的社會的實存としての主體性そのものに連つてゐるのです。即ち、その局面で己を盡す、對象のために自己のすべてを放棄すると云ふことが、主體の眞實です。眞理は表明されるものですから、斯うした眞實、對象への眞實はその主體の社會的眞實性によつて裏打ちされるのです。かかる裏打ちを通じてはじめて、眞理は眞理として普遍性と妥當性を得るでせう。一言云ひ添へて置きますが、之は單に道德的なことを云つてゐるのではないのです。自然科學の場合にもこの事は云へると思ひますが、社會科學に於ては、その論理が主體のあり方を離れては考へられないですからこの事は明らかだと思ひます。

學生の求めてゐるのは確かに高い知識です。併し、單にそれだけではありません。眞實に飢えてゐるのです。それで私は、追放のことを云はなければならなかつたのですが、所謂復歸教授達が、彼のソフィストの知を以て紳貴な眞實への學生の飢を裏切らないで欲しいと願つてゐるのです。眞實なる知によつて導かれる社會は未だ私達には遠いのでせうか。敗戦の代償としてせめて眞實だけでも欲しいと思ひます。けれどこれは餘りにも高い代償でせうか。(豫科教授)